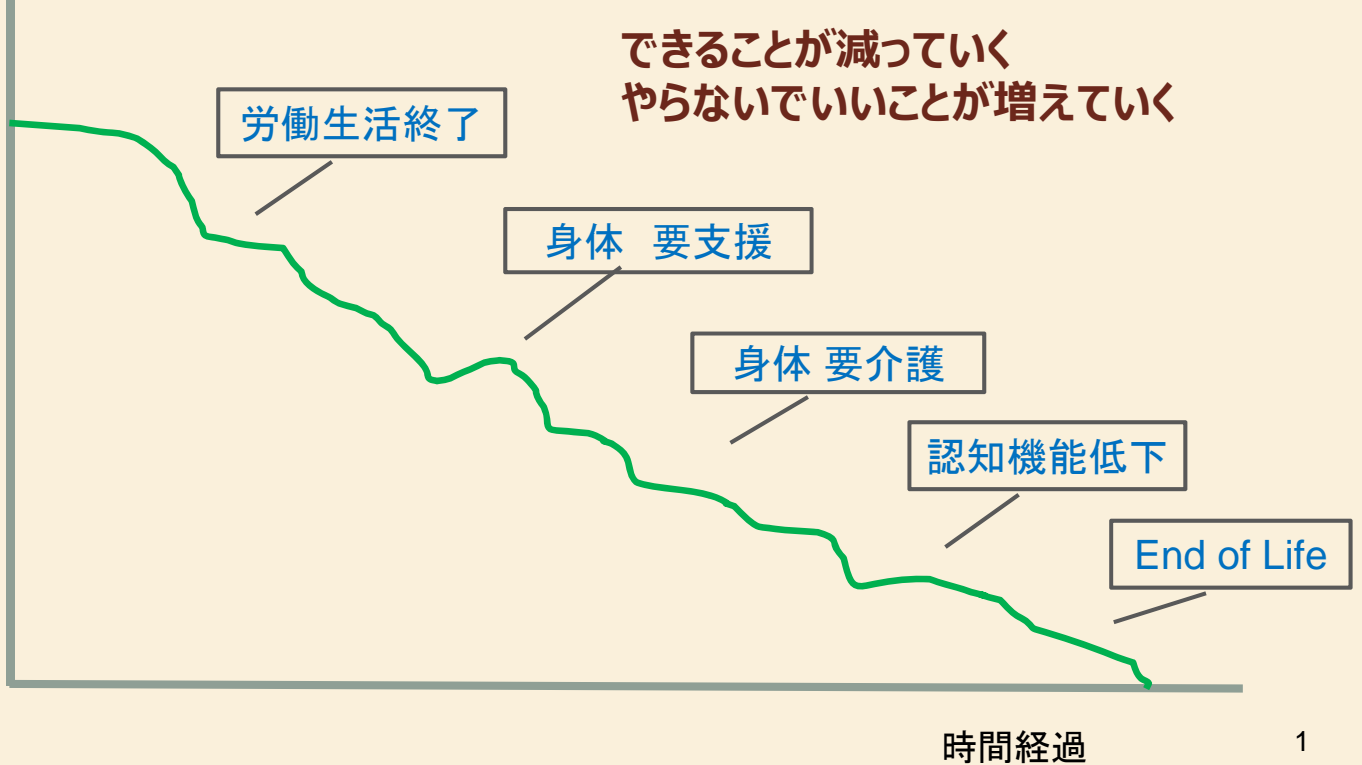


# 老いの進み方：できることの変化

心身の機能/活動

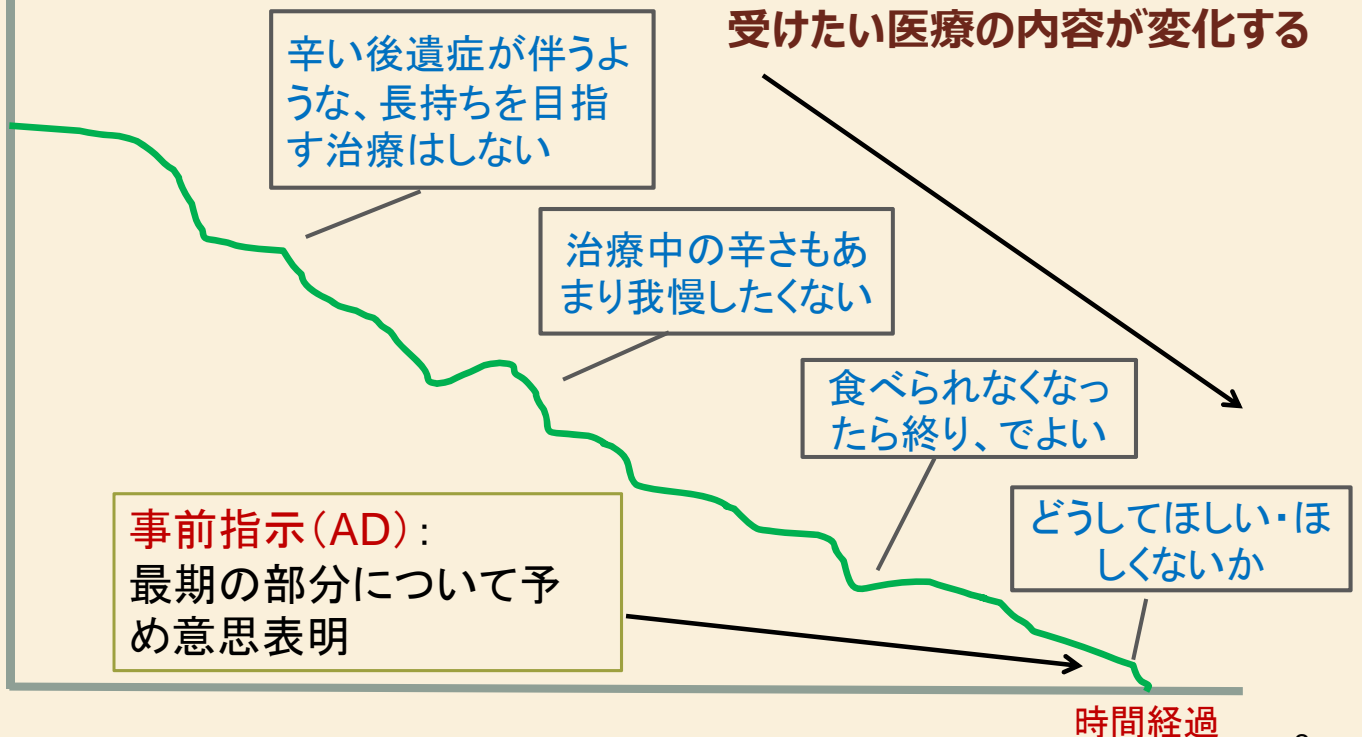


# 最期に向かった心の積り

できることが減る/やらないで良いことが増える  
につれて、

受たい医療の内容が変化する

心身の機能/活動



# 心積りのための二つのポイント

## 高齢者ケアの 意思決定プロセス に関するガイドライン

人工的水分・栄養補給の導入を中心として

日本老年医学会のガイドライン  
2012年6月公表

### 【構成】

第一部 医療・介護における  
意思決定プロセス

第二部 いのちについてどう  
考えるか

第三部 AHN導入に関する  
意思決定プロセスにおける  
留意点

皆で一緒に  
決めましょう

人生のために  
生命を支える

医学と看護社

3

## ① 生命は人生のために

### 人のいのちの二重の見方

医療は、人生の展開のために土台である生命を整える



人生

物語られるいのち



生命

生物学的生命

4

# 人生のよさの尺度：「長生き」と「快適さ」

《よい人生》： 本人が「生きててよかった」と満足できる（本人の人生に注目して、最善を考える）

→長生き = 目的①

長ければ中身はどうでもいい？ 否

→快適な生活 = 目的②

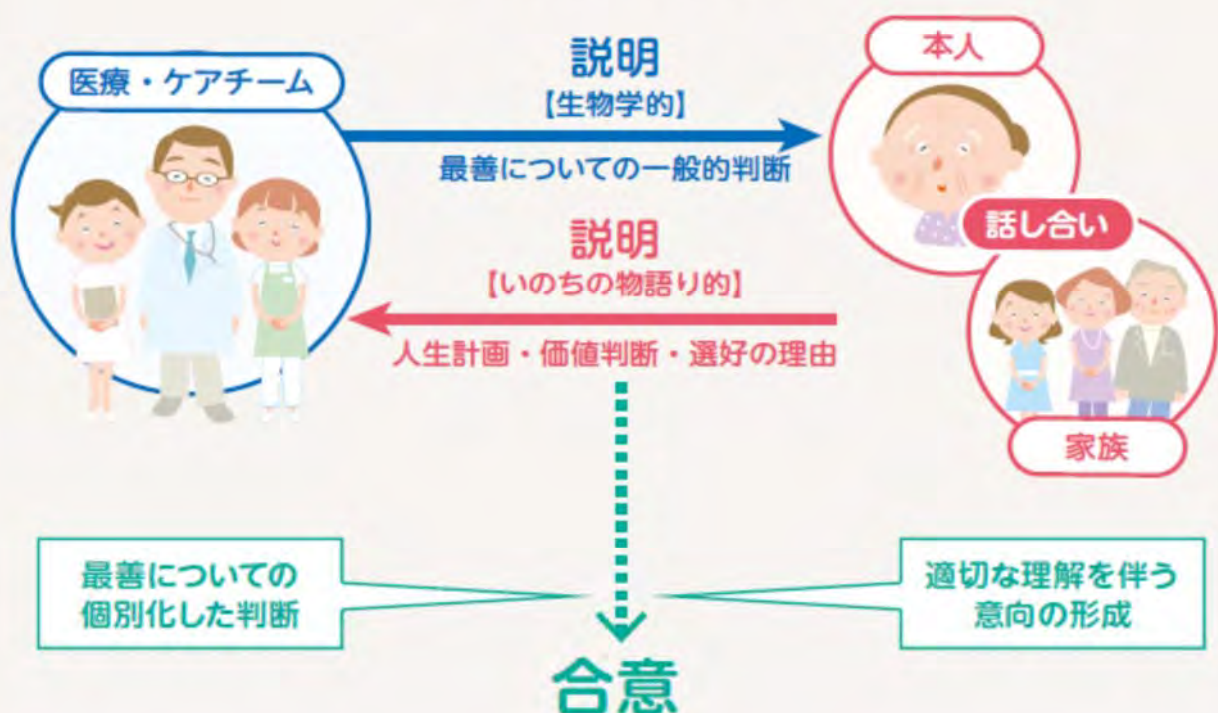
a. 苦痛がなく、楽に過ごせる

b. 残っている能力を発揮する機会がある

- 老いが進んでいる場合 まずは**目的②（快適）**、さらに**目的①（長生き）**も加えられたらラッキー
- まだ元気な場合 ①**長生き** ↑ ②**快適さ** ↓
  - 長生きのために、快適さをどこまで犠牲にできるか

5

## ② 意思決定プロセス 情報共有-合意モデル



6

## 〔ステップ1〕 これまでの人生と 今後の生き方

(a) 自身の人生を振り返り、  
生き方・価値観を確認する

- 自身の人生の物語りを振り返って確認

- 今後の人生の方向について心積もり



## 〔ステップ2〕

(b) 老いの進み方の区分を理解し、  
自身の位置を確認する

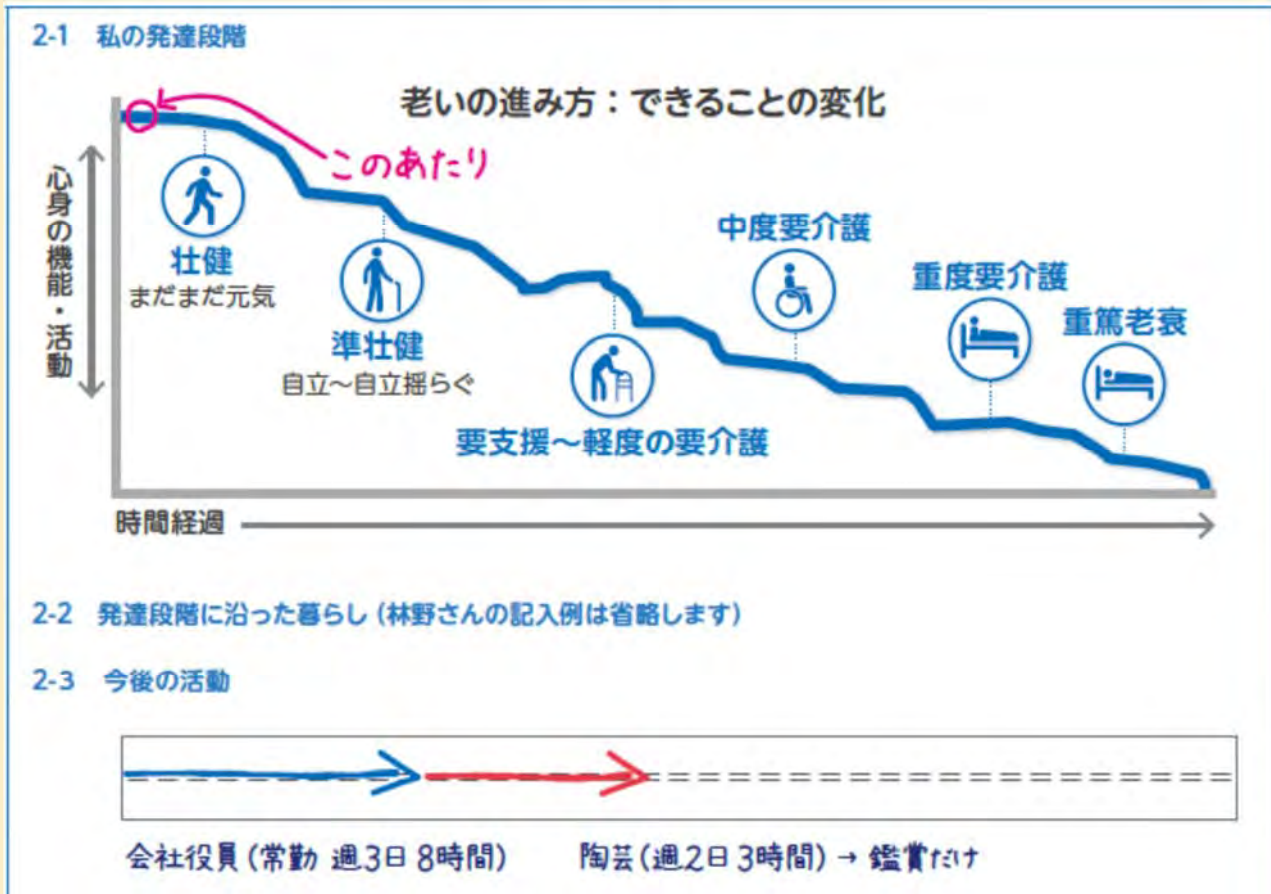


「臨床フレイルスケール」を採用(一部改変)



# 〔ステップ2〕 今後の暮らしと活動

(c) 今後の暮らし方、今後の活動を心積りする



# 〔ステップ3〕 今後の治療・ケア



医療側は受けることを勧める

境界線はアナログ思考で

医療側は受けないことを勧める

医学的見通しを理解 → 人生の観点での判断

# 治療・ケアについて心積りするテーマ

## •積極的な治療

☆効果と後遺症      ☆効果と治療時の辛さ

## •生命維持

☆水分と栄養      ☆人工呼吸器      ☆人工透析

## •快適さを目指すケア      ・モルヒネ      ・鎮静

## •急変した時      ☆救急車      ☆蘇生

事前指示／リビングウィルと重なっている

11

## 心積りに向けて

- 広い予めの人生計画＝心積りを支援する
  - 高齢者の「老活」支援（終活&ADも含む）
- 臨床フレイルスケールを治療の医学的評価・推奨に使用した、本邦初の例
- 現在、健康寿命を延ばすことに集中
  - 「だが、健康寿命の先はどう過ごすのか」
  - ・・・これに答えている

- 終わりまで心積り
- 健康寿命の先は、引き延ばそうとしない
- フレイル（心身の老化）の進行に相対的な医学的推奨＋人生についての理解

12